

ページ	誤	正																								
P09	※8 スピーカ の解説3行目 1. キットに入っている 長めの 線材を真ん中で切ります。	1. キットに入っている線材を真ん中で切ります。																								
P12,13	<table border="1"> <thead> <tr> <th>STEP</th> <th>C言語</th> <th>マイコン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>05</td> <td></td> <td>SRE, PORTxレジスタ, TRISxレジスタ</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>入力端子,PORTxレジスタ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	STEP	C言語	マイコン	05		SRE, PORTxレジスタ, TRISxレジスタ	11	入力端子,PORTxレジスタ		<table border="1"> <thead> <tr> <th>STEP</th> <th>C言語</th> <th>マイコン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>05</td> <td></td> <td>SFR, PORTxレジスタ, TRISxレジスタ</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td>入力端子,PORTxレジスタ</td> </tr> </tbody> </table>	STEP	C言語	マイコン	05		SFR, PORTxレジスタ, TRISxレジスタ	11		入力端子,PORTxレジスタ						
STEP	C言語	マイコン																								
05		SRE, PORTxレジスタ, TRISxレジスタ																								
11	入力端子,PORTxレジスタ																									
STEP	C言語	マイコン																								
05		SFR, PORTxレジスタ, TRISxレジスタ																								
11		入力端子,PORTxレジスタ																								
P40	最上段囲み ①電圧レベルの初期設定 ポートBに接続されたLEDが全て消灯するように ポートBを全て LLレベル に設定します。 ・・・ポートBの設定と同じ LLレベル にしておきましょう。	①電圧レベルの初期設定 ポートBに接続されたLEDが全て消灯するように ポートBを全て HLレベル に設定します。 ・・・ポートBの設定と同じ HLレベル にしておきましょう。																								
P50	最下行 この設定で何をしているかについては、 Pxx で解説します。	この設定で何をしているかについては、 P106 で解説します。																								
P72	8レベルスタック解説図内 ② 関数0 を呼び出しBの番地を格納 ③ 関数0 を呼び出しCの番地を格納	② 関数1 を呼び出しBの番地を格納 ③ 関数2 を呼び出しCの番地を格納																								
P86	ソース内 待ち時間の間隔 10000 → 300 ~ 500ぐらい	10000 → 300 ~ 600くらい																								
P91	問題11-2 3行目 ヒント2: 入力端子に設定するのは、 RA0~4 端子のみです。	ヒント2: 入力端子に設定するのは、 RA0~5 端子のみです。																								
P112	上段 外部割込みとは 4、5行目 入力エッジ 立ち上がりエッジ・・・端子の電圧レベルが Hレベル から Lレベル に変化 立ち下がりエッジ・・・端子の電圧レベルが Lレベル から Hレベル に変化	入力エッジ 立ち上がりエッジ・・・端子の電圧レベルが Lレベル から HLレベル に変化 立ち下がりエッジ・・・端子の電圧レベルが Hレベル から LLレベル に変化																								
P113	フローチャート メイン関数 下から2つめ LED2 状態反転	LED3 状態反転																								
P128	下段 INTCONレジスタ ⑤ TOIF ビット: タイマ0オーバーフロー割込みフラグ ⑥ TOIE ビット: タイマ0オーバーフロー割込み許可	INTCONレジスタ ⑤ TOIF ビット: タイマ0オーバーフロー割込みフラグ ⑥ TOIE ビット: タイマ0オーバーフロー割込み許可																								
P139	CCP1CONレジスタ(17h) CCP1X CCP1Y CCP1M3 CCP1M2 CCP1M1 CCP1M0 <table border="1"> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>	-	-			1	1	0	1	CCP1CONレジスタ(17h) CCP1X CCP1Y CCP1M3 CCP1M2 CCP1M1 CCP1M0 <table border="1"> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>	-	-			1	0	1	1								
-	-			1	1	0	1																			
-	-			1	0	1	1																			
P140	最上段囲み CCPR1レジスタ ③10進数の“ 1191 ”は、2進数で“00000111 01110111”です。	③10進数の“ 1911 ”は、2進数で“00000111 01110111”です。																								
P143	上段囲み タイマ1の設定に必要な設	タイマ1を使用するのに必要な設定																								
P143	上段囲み 6行目 ⑧ CCP1IE = 1;	⑧ TMR1ON = 1;																								
P143	問題18-1 音階の周波数表 「ファ」の周波数 : 369.99Hz	「ファ」の周波数 : 349.2Hz																								
P149	上段囲み 周期とHの時間 <table border="1"> <tr> <td>CCPR1レジスタ + CCP1Xビット + CCP1Yビット</td> <td>CCPのレジスタ パルス信号の周期を設定 TMR2レジスタの値とCCPR1レジスタ~</td> </tr> <tr> <td>PR2レジスタ</td> <td>CCPのレジスタ パルス信号のHの時間を設定 TMR2レジスタの値とPR2レジスタ~</td> </tr> </table>	CCPR1レジスタ + CCP1Xビット + CCP1Yビット	CCPのレジスタ パルス信号の周期を設定 TMR2レジスタの値とCCPR1レジスタ~	PR2レジスタ	CCPのレジスタ パルス信号のHの時間を設定 TMR2レジスタの値とPR2レジスタ~	<table border="1"> <tr> <td>CCPR1レジスタ + CCP1Xビット + CCP1Yビット</td> <td>CCPのレジスタ パルス信号のHの時間を設定 TMR2レジスタの値とCCPR1レジスタ~</td> </tr> <tr> <td>PR2レジスタ</td> <td>CCPのレジスタ パルス信号の周期を設定 TMR2レジスタの値とPR2レジスタ~</td> </tr> </table>	CCPR1レジスタ + CCP1Xビット + CCP1Yビット	CCPのレジスタ パルス信号のHの時間を設定 TMR2レジスタの値とCCPR1レジスタ~	PR2レジスタ	CCPのレジスタ パルス信号の周期を設定 TMR2レジスタの値とPR2レジスタ~																
CCPR1レジスタ + CCP1Xビット + CCP1Yビット	CCPのレジスタ パルス信号の周期を設定 TMR2レジスタの値とCCPR1レジスタ~																									
PR2レジスタ	CCPのレジスタ パルス信号のHの時間を設定 TMR2レジスタの値とPR2レジスタ~																									
CCPR1レジスタ + CCP1Xビット + CCP1Yビット	CCPのレジスタ パルス信号のHの時間を設定 TMR2レジスタの値とCCPR1レジスタ~																									
PR2レジスタ	CCPのレジスタ パルス信号の周期を設定 TMR2レジスタの値とPR2レジスタ~																									
P155	中段囲み T2CONレジスタ(12h) <table border="1"> <thead> <tr> <th>T2CKPS1</th> <th>T2CKPS0</th> <th>プリスケール値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>*</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	T2CKPS1	T2CKPS0	プリスケール値	1	*	16	0	1	4	0	0	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>T2CKPS1</th> <th>T2CKPS0</th> <th>プリスケール値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>*</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1でも0でも同じ</p>	T2CKPS1	T2CKPS0	プリスケール値	1	*	16	0	1	4	0	0	1
T2CKPS1	T2CKPS0	プリスケール値																								
1	*	16																								
0	1	4																								
0	0	1																								
T2CKPS1	T2CKPS0	プリスケール値																								
1	*	16																								
0	1	4																								
0	0	1																								
P176	上段 Stopwatchの起動と設定 方法については、 デバッグの使い方「起動と設定」 を参照してください。	方法については、 デバッグの使い方「MPLAB SIMの起動と設定」 を参照してください。																								